

平成 15 年 7 月 23 日 午後 7～9 時

場所：北海道環境サポートセンター

## 環境プラザ懇談会 会議録

まず、市より環境プラザに関しての報告・説明を行い、その後、意見交換を行った。参加人数は約 50 名（うち市側 7 名）。

### 1 環境プラザに関する報告事項および説明事項

環境プラザ開設に向けての進捗状況

< オープニングイベントについて >

・ 9 月 1～7 日に以下のオープニングイベントを行う。実行委員会は市民と市で構成されている。

(1) さっぽろ環境情報マップ

(2) 環境プラザ！クイズオリエンテーリング

(3) 環境日替わり講座

また、市が主催する講演会（講師：松本英揮氏）も行う予定である。

< 周知用パンフレットについて >

・ 環境プラザを周知するためのパンフレットを作成・配布している（配布資料 1）。

中央図書館との図書取次ぎに関すること

今年 3 月に環境プラザの管理・運営に関する意見交換会を開催した。その時点では、環境プラザの本を管理する情報センターにおいて、市内の図書館と本のやりとりが可能であるとした。しかし、現状ではそのような体制は困難となっている。今後の課題としたい。

懇談会の開催目的

環境プラザは市民に広く利用されて、生きる場所である。懇談会を通して、環境プラザの運営のあり方を話し合い、市民と市の意識の共有をしたいと考えている。

環境プラザの平成 15 年度の予算と業務について

環境プラザの今年度の業務および予算について報告する（配布資料 2）。予算の決定額は要求額の半分以下であり、特に職員人件費・ホームページ改訂費・外部講師料について十分な予算を得ることができなかった。

今後の環境プラザ運営の考え方（市の案）と市の課題について

市の基本方針は「委託可能な部分は委託する」。環境プラザの運営に関しては、3 年をめどに委託化するという課題がある。そこで、懇談会を通して環境プラザの運営のあり方を整理したい。

15 年度は業務や運営組織等において、市民と市で共通認識を持ちたい。

16 年度は環境プラザの運営方針について合意形成を行いたい。

17 年度はその合意形成をもとに、新たな運営体制の開始に向けての準備を行いたい。

18年度は新たな運営体制を開始したい。

また、運営の委託について、選択肢として考えられる5つの案を提示した（配布資料2）。

## 2 環境プラザに関する意見交換

市民の意見	市の意見
<p><b>委託に関して</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3月の意見交換会では、委託化までの目標期限は5年だった。今回の懇談会では3年となっている。その理由は？</li><li>・どこまでをどう委託するのか？NPOが十分に活躍できるよう、NPOと市が得手不得手を互いに補うべきである。</li><li>・委託化は経費削減のためではなく、本当に協働を目指す上での計画なのか？</li><li>・委託にこだわらず、新しい協働の形態も考えるべきである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・意見交換会では環境局の考えで5年を目標としたが、委託に関する市の方針に沿って、3年を目処とした。</li><li>・委託を行うとしても、市としてもわからないことが多い。必要があれば直営という選択肢もありえる。また、委託先をNPOに限っているわけではない。委託先・委託内容を含め、環境プラザの運営のあり方についてこれから話し合っていて決定していきたい。</li></ul>
<p><b>懇談会に関して</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・環境プラザにおける懇談会の位置付けは？</li><li>・懇談会の今後のスケジュールは？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境プラザの運営に関して意見を交換する会である。しかし、現時点では市が環境プラザを管理しているため、懇談会は意思決定機関とはならない。しかし、できるだけ話し合いの意見を反映するようにしたい。</li><li>・今年度は月1回のペースで懇談会を開催したい。</li></ul>
<p><b>環境プラザの機能について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・北海道環境サポートセンターとの違いは？</li><li>・北海道環境サポートセンターとお互いに協力体制で運営してほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境プラザでは小中学生を対象とした展示物を用意しており、環境教育・環境学習の拠点となるような位置付けを担いたい。</li><li>・環境サポートセンターと定期的に話し合いの場を持つなどして協力し、相乗効果を持つように機能したい。</li></ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・札幌市民以外は環境プラザを利用できないのか？</li><li>・懇談会の開催について、もっと広くアピールすべきだったのでは？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・札幌市民以外にも利用できる。</li><li>・今回の周知には市のホームページと北海道環境サポートセンターのメーリングリストを利用した。市としてもアピールしたかったが、先述の周知方法だけに留まったのが現状である。良い案があればぜひ採用していきたい。</li></ul>

市民の意見	市の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境プラザ職員の人選基準は？</li> <li>・小中学校にパンフレットを配布する目的は？</li> <li>・懇談会の内容をわかりやすくまとめてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター役を適切に務められる人選を行った。</li> <li>・子供たちに興味を持ってもらうと同時に、先生方にぜひ環境プラザを活用してほしいと考え、配布した。</li> <li>・まとめたものをホームページに掲載する。</li> </ul>